

カリキュラム

機構施設名： 和歌山職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

A.バックオフィス		AI(人工知能)活用
	新技術活用	

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	AI(人工知能)の概要	AIとは ・AIの歴史 ・AIの仕組み(機械学習、ディープラーニング、ニューラルネットワーク) AIの機能と活用分野 ・4つの主な機能(画像認識、音声認識、自然言語処理、予測・異常検知) ・汎用型のAIと特化型のAI、それぞれのメリット ・様々な活用分野(企業、自治体、家電、医療、交通等) 生成AIとは ・生成AIとは ・生成AI利用時の基本的指針(守るべき倫理・安全性・透明性・責任等) ・生成AIの様々なアプリ ・プロンプト・エンジニアリングで問いを立てる ・生成AIのデモ	3.0
	2	AIの活用事例と今後の展望	AIの活用事例 金融機関の本人確認、株価予測、機械翻訳、AIスピーカー、お掃除ロボット、農業・畜産業における水・養分等の制御、製造業における検査、自治体における窓口認証、交通利用者の分析、観光・旅行のリコmend、小売・飲食業のPOS等 【演習1】自ら生成AIを触ってみよう ・プロンプト・エンジニアリング ・マーケティング・リサーチ ・議事録作成 ・パンフレット作成 ・中期事業計画の作成 【演習2】 ・チャットボットのプロトタイプを作ってみよう まとめ ・AI、生成AIにとって変わる分野 ・全てを信じてはいけませんが、価値業務を見直すチャンス ・(生成)AIを自社に導入すステップ ・(生成)AI活用時代求められるスキルとPDCAサイクルを回すことの重要性	3.0
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
AIとは何ぞや、歴史を基礎から学ぶこと、身近な事例を知ることで、AIに対するまずハードルを下げてくださいことからスタートする。その上で実際に生成AIに触る演習を準備することで、様々な業務に活用できることを体感していただくことで、自業務への適用を検討していただけるようにする。 講義では講師とのインタラクティブな会話を通じ、楽しく学習していただく。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用) スマートフォン等(AIの演習に使用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他) PC(講師持参) ポケットWifi
●使用するテキスト オリジナルテキスト	●その他

利用事業主に用意を求める機器等	備考